

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問合わせ	半田市立博物館 館長 関 正樹 0569-23-7173 担当 秋山紘胤、谷川有紗
------	--

令和4年2月18日提供 (事前情報・事後情報)

名称	館蔵品展「古文書に見る江戸時代の庄屋の仕事」の開催について
日時	令和4年2月26日(土)～4月10日(日)
場所	半田市立博物館(半田市桐ヶ丘4丁目209-1) 2階特別展示室
主催者	半田市立博物館 Tel (0569) 23-7173
趣旨 (目的)	博物館で収蔵している貴重な古文書資料を展示し、当地方の江戸時代の庄屋(村役人)の仕事内容について紹介します。
内容	<p>古文書とは、過去の時代の史料となる古い文書で、その多くは和紙にくずし字とよばれる独特の書体で書かれています。江戸時代では、古文書が行政書類として大量に作成され、現在でも各地に多数残されています。</p> <p>当館では、市指定文化財である「乙川文書」や「西成岩文書」をはじめ、江戸時代から明治期にかけての村方文書(村で作成された公文書や記録類、絵図など)を約1万5千点収蔵しています。長年、博物館専門員がこれらの古文書を解説・整理し、当時の人々の生活の様子を明らかにしてきました。本展では、これまで明らかになってきた当地方の江戸時代の庄屋の仕事内容について紹介します。</p>
担当者 情熱メッセージ	これまで、江戸時代の庄屋の具体的な仕事内容をまとめた報告は少なく、当館で収蔵している古文書を解説・整理することで、少しずつ明らかになってきました。江戸時代に当地方で暮らした人々の生活の様子を感じていただければ幸いです。
別紙	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
写真	<input checked="" type="checkbox"/> 事前提供可 ・ <input type="checkbox"/> 事後提供可

半田市企画課広報情報担当

0569-84-0603

